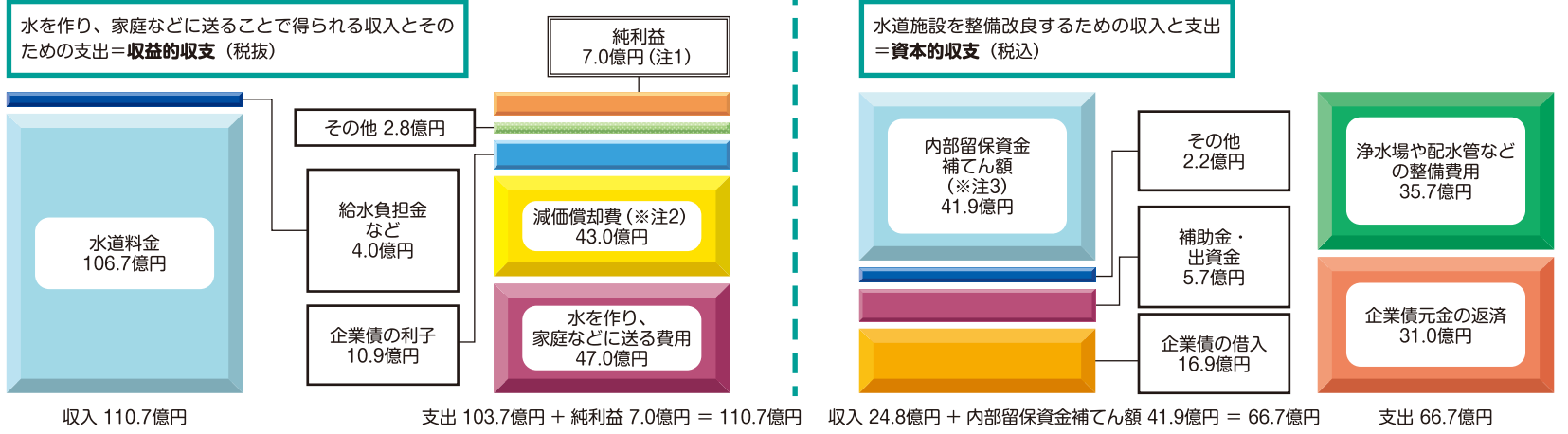


# 水道事業・公共下水道事業の決算（平成24年度）の概要

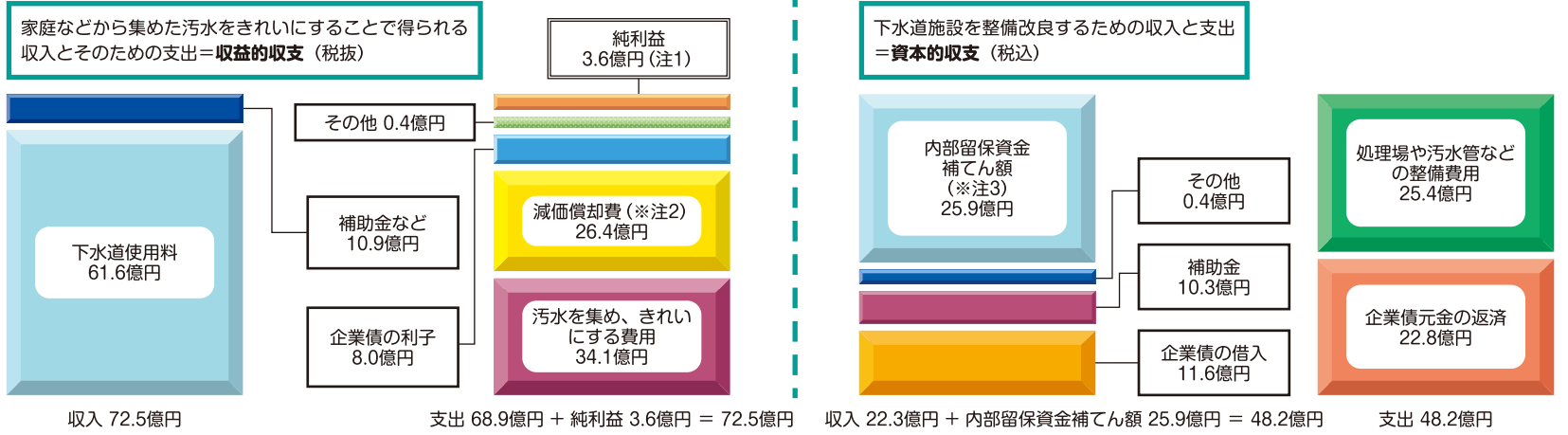
平成24年度、水道事業及び公共下水道事業はともに健全財政を維持することができました。

今後とも、より一層の経営の効率化に取り組む等健全な事業運営を図りながら、水道事業においては安全でおいしい水の安定的な供給に、公共下水道事業においては快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全に努めていきます。

## 水道事業



## 公共下水道事業



※注1…水道事業及び公共下水道事業の利益につきましては、全額を将来の施設の大規模な更新に備えるため建設改良積立金に積み立てました。  
この利益は、企業債の補償金免除の繰上償還の効果等、一時的な要因によるものが多く、本業である給水収益、下水道収益は減少傾向であることから、経営の状況は今後厳しいものと想定しています。  
※注2…「減価償却費」とは、水道管などのように長期間使用される資産の取得に要した費用を、一度に費用にしないで耐用年数（水道管の場合、40年となります。）の期間に応じて按分して費用化したものです。  
なお、「減価償却費」は現金の支出を伴わない費用であり、減価償却分の資金は内部留保されます。  
※注3…資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、減価償却費等により生じる内部留保資金で補てんしています。  
○水道局では「工業用水道事業」も運営しています。決算状況等については、ホームページでも公表しています。

【経理課 TEL：213-8510】

# 「公営企業経営健全化計画」の実施状況

「公的資金補償金免除繰上償還に係る公営企業経営健全化計画（鹿児島市水道事業経営改革プラン・公共下水道事業経営改革プラン）」に基づく経営の効率化の実績

本市水道局では、上記プランに基づき、平成19年度から各種施策や該当企業債の繰上償還を開始し、「水道事業経営改革プラン」につきましては、平成23年度をもって終了しました。引き続き「公共下水道事業経営改革プラン（計画期間：平成19年度から平成26年度）」に取り組み、本市水道局の経営の健全性をより高めてまいります。

### 企業債残高と企業債支払利息の推移

（単位：千円）

企業債残高	平成18年度末 (a)	平成24年度末 (b)	縮減額 (a-b)
水道事業	61,211,176	48,682,605	12,528,571
公共下水道事業	40,274,706	32,530,224	7,744,482
合計	101,485,882	81,212,829	20,273,053

企業債支払利息	平成18年度末 (c)	平成24年度末 (d)	縮減額 (c-d)
水道事業	2,398,887	1,088,924	1,309,963
公共下水道事業	1,615,314	800,028	815,286
合計	4,014,201	1,888,952	2,125,249

平成18年度末と比べ、企業債残高で約200億円減少し、支払利息も約21億円減少したという成果がでており、経営の健全性がより高まりました。

### 平成24年度公共下水道事業経営改革プランの実施状況

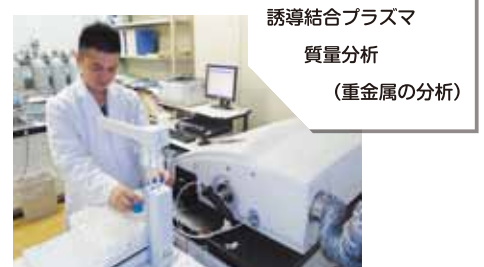
- 人件費の削減
  - 定員の削減（1人）
- 経費の削減・民間委託の推進等
  - 公共工事コスト構造の改善（改善額：約6億3,400万円）
  - 下水道施設の長寿命化の推進
- 経営健全化等に関する情報公開の推進等
  - 経営健全化や財務状況に関する情報の公開
- 市民サービスの提供・社会貢献活動の推進
  - 下水道使用料等の毎月振替の実施
  - 環境に配慮した取り組みの推進
- 企業債残高の縮減（公共下水道事業）
  - 23年度末：約337億円⇒24年度末：約325億円

【経営管理課 TEL：213-8506】

# 安心・安全でおいしい水をお届けするために

水道局では、水道水を安心して飲んでいただくため、水道法に基づく検査によって安全性を確認しています。浄水場や水源地の配水系統ごとの検査地点76か所で、定期検査を実施するとともに、必要が生じた場合には、臨時の水質検査を実施します。

- 定期検査（76か所）
  - 水質基準項目 50項目（水道法で義務づけられているもの）
  - 水質管理目標設定項目 27項目（検査項目に位置づけることが望ましいとされているもの）
  - 鹿児島市が独自に行う水質検査項目 14項目（水道水がより安全で良質なことを確認するためのもの）
- 毎日検査（100か所）
  - 色、濁り、残留塩素濃度



【配水管理課 TEL：238-2555】